

土石流への安全対策は

雨水排水が適正に処理できるような計画

問 山田第3団地の計画概要が発表され、住民説明会も開催された。復興事業が進むのは大変喜ばしい。しかし、第3団地の計画予定地は土砂災害の警戒区域となつている。災害の発生に備え何らかの対策が必要であると考えるが。

答 現時点で警戒区域指定は無いとのことだが、まだ指定されていないにもかかわらず、希望者にはしっかりと説明していく必要がある。

問 もし災害が起きれば、たとえ住民が避難できたとしても家屋は被災する。町が主導して整備する団地である以上、防災

対策はしっかりと行わなければならない。河川は県の管理となるが、防災についての県との連携は。

問 何より大切なのは、住民の生命と財産が被害に遭わないこと。そこを最優先に考えて復興計画を進めてほしい。

問 予算の繰り越し処理ミスによりB&G艇庫の復旧事業が途中で打ち切りとなった。経緯説明の際、再発防止策は改めて検討するとのことだが、それが、その後の対応は。

問 上司による部下のチェックを徹底していくことだが、それができなかつたが故にこのような結果となった。

佐藤町長 第3団地の整備予定地は土石流の危険箇所となつているが、現時点では土砂災害防止法に基づく警戒区域・特別警戒区域には指定されて

いない。住宅建築の規制はないが、危険箇所のため雨水排水が適正に処理できるように計画する。

川守田建設課長 県はレッドゾーンでなければ対策は行わないという立場だが、町として排水対策はしっかりと行っていく。

建設課長 被害防止のため、町ができることに最大限取り組んでいく。

町長 事務処理に際し、各課の管理体制を強化するよう管理職へ命じた。

問 全員協議会での説明では、起案者・係長・課長補佐の押印を1人の職員が行ったとのことであるが、これではチェック機能が働かない。見直すべきでは。

花坂総務課長 復興事業が多く、人手が足りないのが正直なところだ。上司が部下の仕事をしつ

総務課長 おっしゃるとおりだと思う。一層気を引き締めて従事していく。



議員 田老賢也
(無所属)



「N482092」「B117110」の危険箇所と重なる第3団地予定地